



春の「緑の募金」活動の「協力 の御礼

令和4年3月1日から5月31日まで実施された春の「緑の募金」活動期間中、募金活動や緑の羽根の着用などにご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

皆様からご協力いただきました「緑の募金」総額17,302円を、高知県内の窓口である「高知県森と緑の会」様へお渡しすることができました。集められた募金は、今後、身近な地域や国内外の様々な森づくり・人づくりの活動に活かされます。

皆様本当にありがとうございました。森林は、私たちに多くの恵みをもたらし、生活を豊かにしてくれます。秋にも緑の募金活動を行いますのでご協力をよろしくお願いいたします。



四国森林管理局 庁舎内の樹木の紹介 ヒラドツツジ

マビリーAPG等分属体系による
ツツジ科 ツツジ属
エングラール分属体系による
ツツジ科 ツツジ属
Rhododendron pulchrum (大紫)
漢字名 平戸躑躅 常緑低木



ビャクシン

マビリーAPG等分属体系による
ヒノキ科 ネズミサシ属
エングラール分属体系による
ヒノキ科 ビャクシン属
Juniperus chinensis
漢字名 伊吹 別名 イブキ 常緑高木
雌雄異株・まれに同株



四国森林管理局庁舎内の樹木の紹介

ツツジは日本や中国が原産の常緑性の低木で、あまり手がかからない観賞用として昔から植えられてきました。ヒラドツツジもそのひとつで、その名前は古くから交易の中心地であった長崎県平戸に由来します。交易により当地にもたらされたケラマツツジ(沖縄諸島原産)、タイワンヤマツツジ(奄美大島～台湾、広東～雲南原産)などと日本国内の様々な種とが自然交雑したものの中から特に優れたものを選抜し、総評してヒラドツツジとよんでいます。品種はなんと300種以上もあるといわれています。季節を通じて常緑の葉を持ち、病虫害に強く、どんな所でも育ち美しい花を咲かせます。開花時期は、4～5月頃、花言葉は、「節制」「節約」「節度」「慎み」「自制心」「訓練」「努力」と数多くあります。

ビャクシンは四国でも庭木として植えられている針葉樹の一種で、イブキやネズとも呼ばれます。ヒノキのような小鱗片状の葉とイヌマキやコウヤマキのような針状の葉の両方が1本の木につく場合があることから、「柏(広葉樹のカシワではなくヒノキの意)」「榎(マキ)」を併せて「柏榎(びやくしん)」と呼ぶそうです。針葉樹としては珍しく乾果(果実の果皮が乾燥した状態になるもの)ではなく液果(イチイなど果肉が柔らかく汁気の多いもの)をつけます。材には芳香があり、俗に白檀と称して香木に使うこともあります。本物のビャクダン(インド原産の熱帯性常緑樹)であり、本種とは関係がないようです。また、ビャクシンとナシ畑などで見られるさび病には因果関係があります。ビャクシンに寄生した担子菌により春から初夏にかけて飛散した胞子が、ナシなどに感染しナシ赤星病を引き起こします。

ヒラドツツジとビャクシンの一口メモでした。